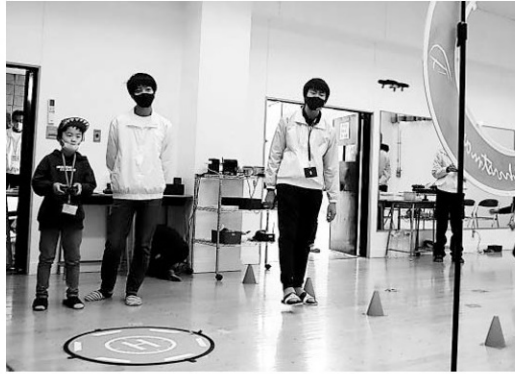


音楽合わせドローン飛行

美濃市 ミュージアム1周年を記念

ドローン関連の各種事業
を手がけるROBOZ(恵
那市)が運営する美濃市曾
代の「ドローンミュージア



ドローンの操縦を楽しむ来場者
＝美濃市曾代、ドローンミュージアム&パークみの

ム&パークみの」でオープン1周年を記念したイベントが開かれ、ドローンショーなどが行われた。

ドローンをより身近に感じてもらう、産業利用の活性化にもつなげようと、昨年11月にオープン。大小100台以上を展示・販売するほか、スクールや研修会を実施している。屋内の練習場に加え、市民プールを利用した屋外の飛行訓練場もある。

ドローンショーでは、あ

らかじめプログラミングされた6台のドローンが床面のQRコードを読み取りながらクリスマスソングに合わせて自動で動き、リズムミカルな様子が来場者を驚かせた。ドローンが撮影した映像をリアルタイムで映し出すゴーグルを装着し、飛んでいるかのような体験ができる企画などもあり、親子連れらが楽しんだ。

この1年間の来場者は、同社の予想を上回る約5千人だったという。石田宏樹

社長は「ドローンを見たことや触ったことのない人にも、足を運んでもらえてうれしかった。これからも普及活動を続けていきたい」と展望を語った。

(佐名妙予)